

『サステナビリティ経営研究』募集要項

2022年9月17日

日本経営倫理学会 編集委員会

『サステナビリティ経営研究 (Sustainability Studies in Business)』は、経営倫理学に関する分野の研究であって、①実務的かつ実践的であり、②速報性 (ニュース性) 又は新規性を有し、③社会に役立つ「論文 (査読付)」、「論文 (査読なし)」及び「事例研究・調査報告 (査読なし)」を募集します。募集は締切りを設けず常に受け付け、査読または掲載審査を通過したものは本学会ホームページに即時に掲載し公表します。本誌の「論文 (査読付)」、「論文 (査読なし)」及び「事例研究・調査報告 (査読なし)」を以下のとおり募集します。

- (1) 雑誌名 サステナビリティ経営研究
 Sustainability Studies in Business (SSB)
- (2) 募集原稿 「論文(査読付)」、「論文(査読なし)」、「事例研究・調査報告(査読なし)」
- (3) 執筆要領 「執筆要領」参照
- (4) 募集期間 随時受け付けます。
- (5) 提出先 日本経営倫理学会事務局 <info@jabes1993.org>
- (6) 投稿 原稿はマイクロソフト社のワード A4 版で作成し、ワードとともに PDF に変換した原稿データを提出してください。

- (7) 査読と掲載 ①「論文(査読付)」は査読を行い、掲載が認められた原稿は、本学会ホームページに掲載し、一般に公開します。
 ②査読の結果、修正を求められた場合、投稿者は修正等を行った上で最終原稿を再提出し、再度の査読を受けます。
 ③「論文(査読なし)」、「事例研究・調査報告(査読なし)」は、学会が発行する雑誌として許容される外形的要件を充足していることを掲載の要件として掲載審査を行います。先行研究の十分性は問いませんが、根拠が不十分な主張や、ただ単に事実をレポートするようなものは掲載できません。

- (8) 査読基準 査読は、以下の条件を充足していることを確認します。執筆の際の参考になさってください。
 - ① 新ジャーナルの発刊趣旨及び目的に合致するテーマである
 - ② 速報性 (ニュース性)、新規性、又は独自性がある
 - ③ 実践性 (実際に実務で参考になるか)、又は社会貢献性がある
 - ④ 題名と内容が整合している
 - ⑤ 問題意識、論拠、結論の明確性と適切性、及び論理的一貫性がある
 - ⑥ 論文構成のバランスがとれている

- ⑦ 専門用語が適切に使われている
- ⑧ 図表、脚注、注記、参考文献、及び本文の表記が日本経営倫理学会誌の表記ルールに準拠している
- ⑨ 十分な先行研究のサーベイがなされており、論拠となるデータ、引用文献等が適切である
- ⑩ 著作権などの知的財産権、プライバシー権などの人格権、その他の法令への違反や第三者の権利の侵害がない

(9) 留意

- ①本誌は原則として、毎年12月末日までに本学会ホームページに掲載された「論文(査読付)」、「論文(査読なし)」、「事例研究・調査報告(査読なし)」から編集委員会において選定し、翌年雑誌として発刊します。
- ②本誌に掲載された論文等の著作権は本学会に帰属します。掲載された論文等の転載は、事前に編集委員会の承認を得てください。

以上

『サステナビリティ経営研究』執筆要領

2022年9月17日

日本経営倫理学会 編集委員会

『サステナビリティ経営研究』（以下「本誌」という。）の執筆要領は以下のとおりです。

（1）公募する原稿の分類

① 「論文(査読付)」、「論文(査読なし)」

速報性、新規性、実践性、社会貢献性に優れた論文を募集します。

③ 「事例研究・調査報告(査読なし)」

論文としての結論に至っていないものであっても、速報することに社会的意義があるものを対象とします。例えば「〇〇事件の第三者委員会報告書の評価速報」、「企業の被災者支援の実態に関する調査報告」など、調査結果の速報や事件・事故の分析等を想定しています。

（2）掲載の要件

「論文(査読付)」は、サステナビリティ経営研究募集要項「(8)査読基準」に基づく査読を行い、掲載を認められた論文を掲載します。

「論文(査読なし)」及び「事例研究・調査報告(査読なし)」は、学会が発行する雑誌として許容される外形的要件を充足していることを掲載の要件として掲載審査を行います。先行研究の十分性は問いませんが、根拠が不十分な主張や、ただ単に事実をレポートするようなものは掲載できません。

（3）文字数

「論文(査読付)」、「論文(査読なし)」、「事例研究・調査報告(査読なし)」ともに、和文 24000 字、欧文 10000word 以内

（4）構成

- ① 原稿は A4 版、横書きとし、1 頁あたり 36 行で作成してください。（別紙「原稿サンプル」参照）
- ② 論文タイトル、執筆者、所属、職位及び学位等は、和文・欧文を併記します。副題をつける場合は、主題の下に和文・欧文の両方で記述します。
- ③ 本文は、和文又は欧文のどちらかで記述します。本文は二段組とし、和文の場合は 1 行 20 字、欧文の場合は 1 行 40 文字、文字は 10.5 ポイントで作成します。
- ④ 脚注は原則として本文の最後にまとめます。本文中の当該箇所右肩に 1)、2) などと通し番号を付して、本文の最後にまとめて番号を付して記述してください。
- ⑤ 章・節などの表示形式、脚注番号の表示形式、参考文献の表記形式、及び本文での引用形式は、日本経営倫理学会誌の表記ルールに準拠します。